

令和7年度第1回広島県かきへい死に関する有識者会議の概要について

日 時：令和8年1月21日（水） 14時30分～17時30分

場 所：広島海区漁業調整委員会委員室（広島県庁本館4階）

（広島市中区基町10番52号）

形 式：対面・非公開（冒頭のみ公開）

出席者：有識者委員6名ほか、広島県水産課及び水産海洋技術センター、広島市水産振興センターの計15名

＜会議の概要＞

1 有識者会議の進め方について

県水産課から会議の運営方法やスケジュール、データ及び情報の取扱いについて説明した。

スケジュールについては、2カ月に1回程度開催することとした上で、次のかきシーズンに向けた生産準備が本格化する6～7月を見据え、令和8年5月には有識者会議の暫定意見を取りまとめ、令和9年3月には最終意見を取りまとめることを確認した。

また、会議結果については、県水産課が概要を取りまとめて、県ホームページで公表すること確認した。

2 かきへい死、成育、出荷状況に関する現状の共有について

県から、今シーズンにおける県内各地のかきのへい死に関する状況及びその原因分析の検討状況等について報告した上で、有識者の知見をもとに議論した。

また、有識者委員などから、水温、塩分、降雨、餌料環境等の海洋環境について、瀬戸内海全体、広島湾、東広島市三津湾における今年度の傾向や調査結果のほか、かきの繁殖生理に関する報告を受け、かきのへい死との関係について議論した。

へい死の要因として、高水温が共通して見られるとともに、海域毎に高塩分・貧酸素・餌不足などのほか、産卵期の長期化による影響も考えられることから、引き続き、様々な視点から原因究明を進めていくことで一致した。

3 有識者や県・広島市が保有するデータ項目の共有について

各自が保有している海洋環境データ項目、調査頻度、調査範囲等について共有することで、情報交換しながら分析に活用することを確認した。

4 かきへい死の原因分析とそのための調査・検討について

県から、かきへい死の実態をより詳細に把握するための生産者ヒアリング調査や、次年度に漁場環境モニタリングの強化を検討している項目について説明し、出席者から助言を受けた。

また、有識者委員などから、現時点でへい死に関係すると考えられる要因について、今後その兆候を把握するために、強化すべきモニタリング項目や内容について議論し、短期的に取り組める対策や、中長期的な検討が必要な対策などについて提案を受けた。

5 次回（3月）会議に向けた検討事項について

各専門分野において、今回共有した情報や論文等の知見をもとに分析を進め、3月中下旬を目途に開催する第2回会議に持ち寄ることを確認した。

6 その他

県から、かき生産安定緊急対策事業（令和7年度12月補正、2月補正、令和8年度当初）について説明した。